

平成23年度一般会計当初予算説明資料

8款 土木費

2項 道路橋りょう費

4目 直轄道路事業費負担金

道路企画課(内線：7355)

(単位：千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
直轄道路事業費負担金	2,931,167	4,103,965	1,172,798		<1,606,500> 2,637,000		294,167	県費負担 1,900,667
トータルコスト	2,963,119千円 (前年度 4,136,237千円) [正職員：4.0人]							
主な業務内容	国との調整、負担金支払							
工程表の政策目標(指標)	山陰道県内区間の平成29年度までの全線供用							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国が行う山陰道や鳥取豊岡宮津自動車道の高速道路ネットワーク整備等の県内道路事業に係る県負担金。

2 主な事業の内容

国が行う県内の道路事業について、道路法第50条の規定に基づき、費用を負担する。なお、平成23年度から維持管理に係る負担金は廃止される。

(平成22年度限りの経過措置となっていた耐震改修等の特定の事業に係る負担金が廃止)

(単位：千円)

路線名	H23事業費	H23県予算額
山陰道	10,000,000	1,800,000
鳥取豊岡宮津自動車道(駟馳山バイパス)	2,800,000	504,000
その他の改築事業	1,600,000	627,167
改築関係費 計	14,400,000	2,931,167
維持管理関係費	—	廃止
合計	14,400,000	2,931,167

3 これまでの取組状況、改善点

【指標】 供用延長 鳥取自動車道：H22末38.4km／目標38.4km(達成度 100%)
山陰道：H22末47.2km／目標88.6km(達成度 53.3%)

平成22年3月に鳥取自動車道の県内区間が全線供用し、平成23年2月27日には、山陰道「東伯・中山道路(L=12.0km)」が供用する。

また、山陰道「中山・名和道路」や鳥取西道路「鳥取IC～鳥取空港IC(仮称)」及び「駟馳山バイパス」が平成25年度の供用予定が公表され、第一次的高速道路ネットワークの早期連結に一步前進した。

平成23年度も引き続き、他県との連携した政策提示などを通じて、第一次的高速道路ネットワークの早期整備を国に強く訴えていきたい。

(注) 起債欄の上段<>書きは、交付税措置額を除いた金額である。

県費負担は、起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算した額である。